



おかやま薬局では、日頃気になるお薬の使い方やお薬に対する疑問などにお答えするためにおかやま薬局通信を発行しています。

今回のテーマ 塗り薬 (皮膚外用剤) について



- 塗り薬ってどれも塗り方は同じですか？
種類によって塗り方がよくわからないので教えてください。

塗り方について

一般的にどの塗り薬も擦りこまずに優しく伸ばすように塗りましょう。強く擦りこむと患部やその周囲にダメージが生じ、さらに症状を悪化させる可能性があるため注意が必要です。(消炎鎮痛剤など一部擦り込んで使う薬もあります)

塗る量の目安について

どの塗り薬も塗る量の目安は変わりません。患部の範囲に合わせて表面がベタつく程度、ティッシュが貼りつくくらいの量を目安に使用しましょう。

ステロイド外用薬は上記の塗り方・塗る量を参考に患部だけに塗ります。

水虫の塗り薬(爪に使う薬を除く)は患部だけでなく、指の間からかかとまで足の裏全体にまんべんなく塗ります。菌が広がらないように外側から中心部へ向かって塗ると良いと言われています。

※どの場合も処方した医師の特別な指示があればそれに従ってください。



薬剤師からのワンポイントアドバイス

- 塗り薬はお風呂上がりに塗るのが効果的です。角質層が柔らかくなり、薬が浸透しやすいからです。



今回のまとめ 基本的にどの塗り薬も塗り方や塗る量の目安は変わりません。

雑学コーナー バターは古代ヨーロッパで傷薬として使われていたこともあるそうです。

